



みんなのしあわせを創る

杉並区立富士見丘小学校

2025. 2



## 学校運営協議会だより

学校運営協議会は学校の教育計画や運営方針に深く関わっています。

本号では今年度行った児童との懇談会(p.1)や教職員との研修会(p.4)の様子に加え、中面(p.2,3)では、PTA、学校支援本部、青少年育成委員会など、学校に関わるさまざまな団体・活動の位置づけや役割を紹介します。

### 子どもの声に耳を傾けよう　～代表委員(児童)との懇談会～

2024年10月11日に、4・5・6年生の代表委員と学校運営協議会委員との懇談会を行いました。

「学校のいいところ・学校自慢」と富士見丘小学校が「こうなったらしい・こうしてほしい」といったテーマについて、各グループに分かれた子ども達からの意見に協議会委員が耳を傾けました。

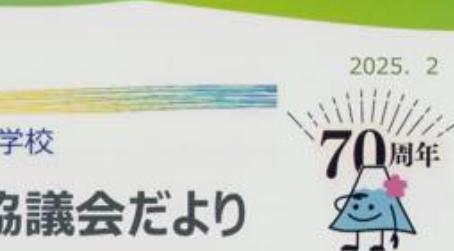
#### 学校のいいところ・学校自慢

- ・給食がおいしい
  - ・学校がきれい
  - ・先生が話しやすい
  - ・行事が多い
  - ・休日が退屈なくらい学校が楽しい
  - ・校庭が広い（以前の方がという意見もあり）
  - ・クラスの仲が良い
- 



#### 子どもたちのつぶやき

- ・2階の女子更衣室に空調があるといいな
  - ・水周りの床が濡れた時にすぐ使えるモップがあつたらいいな
  - ・配布物の棚が遠い
  - ・学校が迷路みたい
  - ・「図書室」が「ラーニングセンター」になった
- 



### みんなのしあわせを創る富士見丘小学校～「子どもの権利」を通して考える～

2022年にできたこども基本法では、子どもたちの声を聞き尊重すること大切にしようということが書かれています。

杉並区の教育振興基本計画でも同じことを大切にしています。

学校運営協議会は、子どもたちの声を聞き、尊重したい、ということで7月にこども家庭庁職員の西崎萌さんを講師に迎え、教職員とともに研修とワークショップを行いました。



「子どもの権利」とは子どもの「基本的人権」のこと

4つの原則

- ① 生くる・育つこと
- ② 人種・性別等に左右されないこと
- ③ 子どもらしくあること
- ④ 意見を聞かれ、実現されること

先生方とのワークショップより 1

- ・委員会や学級の係などで子どもの声をどんどん活かしていく。
- ・「子どもの声」をどう聴いていくか。

先生方とのワークショップより 2

- ・「自分も人も大切にする」ためには対話が必要。
- ・保護者と「子どもの権利」についての理解を共有したい。

先生方とのワークショップより 3

- ・「子どもの意見表明権」が生かされている実践として、「えんげき」があるのでは。

#### 学校運営協議会 活動状況・計画（令和6年度）

- 4月 令和6年度学校経営方針、組織体制の共有  
年間活動計画、実施計画の協議
- 5月 「ふじみスポーツデー」参観、「富士見小CSだより」検討
- 6月 「子どもの意見を反映させた学校運営に向けて」検討
- 7月 教職員との研修・ワークショップ実施
- 9月 委員任用期限（委員任期は10月～翌年9月）
- 10月 70周年式典、次年度の教員・管理職任用に関する協議
- 11月 「すぎなみCSみらい会議」報告
- 12月 自校独自の学校評価に向けた取組に関すること
- 1月 小中連携合同CS開催
- 2月 次年度教育課程に向けた取組等の確認
- 3月 次年度教育課程届の承認、今年度CS活動の評価

杉並区富士見丘小学校 学校運営協議会だより

発行日 2025年2月

発行者 杉並区立富士見丘小学校 学校運営協議会

会長 宮 純子

住所 〒168-0074 東京都杉並区久我山2丁目19-1

TEL 03(3333)7028 FAX 03(3247)8375

(窓口・事務局 副校長 太田直子)

#### We are CS（委員紹介）

校長

竹内 明子

会長

宮 純子

園山 美奈子

澤田 晶子

檜垣 理奈

#### 総集後記

★子どもたちへの理解を深め、よりよい教育環境を創造するためには、現役の保護者がもっと学校に関われる仕組みが必要だと思います。(Sg)

★学校運営協議会は諸団体と共に「ふじみっこ」や富士見丘小学校の応援団！子どもの声を大切に応援を続けてますので、よろしくお願いします！(Sw)

★2022年度にCSだよりを復活発行してから通算3号目になりました。毎回、ああでもない、こうでもない、という議論はCSとは何なのか、どうあるべきか、ということを改めて考えさせられる場になっています。(Sz)



## 学校と子どもたちに関わるさまざまな団体や活動

～ それぞれの位置づけ・役割って？ ～

小学校にはさまざまな地域の団体が関わっていますが、名称や役割が似たような団体や活動が多く、なかなか違いがわかりにくい、という声もちらほら。そこで、富士見丘小学校に関わるさまざまな地域団体をこの際まとめて紹介してみることにしました。ここではあくまで一部となりますが、皆さまの参考になれば幸いです！



学校支援本部  
による授業支援



### 【学校支援本部】

学校支援本部とは、子どもたちの多様な学習活動を実践する「地域学校協働活動」をコーディネートする組織で、杉並区では全ての小中学校に置かれています。

「学校・地域コーディネーター」を中心に、元保護者で構成された多数のサポート者がさまざまな学校支援活動を行います。

### 【主な活動】

- ・地域・外部からのゲスト講師の招へい、連絡調整
- ・社会科見学、まち探検など校外活動の安全確保
- ・図工、家庭科、毛筆指導など見守りが必要な授業での補助
- ・その他教育課程外での活動(スタジルーム、スポーツ教室等)

### 【活動実績】(2023年度)

年間約80回、ボランティアの人数約450人

### 【活動予算】

区からの分担金に加え、独自に基金を設立し、ご寄付の受け皿としました。数年前からPTAからの寄付も始まり、安定して充実した学校支援を続けることができています。

### 【高井戸青少年育成委員会（育成会）】

杉並区には17の育成委員会があり、高井戸青少年育成委員会は、富士見丘小、高井戸小、高井戸東小、久我山小、高井戸中、富士見丘中で構成され、行政担当者、各校長、各PTA、民生委員、青少年委員(下記)、町会・自治会協力者など、現在49名からなります。「青少年育成委員会」は育成委員会の承認により誰でも参加できる無償ボランティアです。

- 2024年度行事・参加人数(富士見丘小/全小学生数)
  - ・じゃがいもほり(35名/191名)
  - ・ティーボール大会(19名/81名)
  - ・凧づくり＆凧あげ大会(20名/101名)

### 【青少年委員】

- 区教育委が各小学校につき1名に委嘱する非常勤公務員
- 青少年委員が小学生と直接関わる活動例：
    - ・子ども地域活動促進事業
      - 浴風会花だんづり(浴風会敷地内に花植え)
      - ・“ふじふん”… 富士見丘中学校生徒企画運営の地域文化祭(小学生団体参加)



学校支援本部による校外学習のサポート



ティーボール練習風景

(青少年育成委員会、PTA、ふじみっこ応援団協力)

### 【ふじみっこ応援団】

杉並おやじネットワークの下、「杉並紙ヒコーキ王決定戦」参加のためPTAからの要請により「おとさんず」として創設され、紙ヒコーキ大会の他、ペットボトルロケット大会、ティーボール大会の指導、たかにしまつりや防災教育への協力など、学校や子どもたちのイベントのサポート役として活動しています。各人が無理のない範囲で、子どもたちのための活動を行うのがポリシーです。富士見丘小に通う子どもの親、という共通点のみで様々な異なる業種・職種のメンバーが集い、それぞれの仕事や子育ての話題に花を咲かせる飲み会は、その会費の余りを積み立てて子どもたちの活動に役立てる大事な場でもあります。コロナにより一時活動が停滞し、名前を変更して再興中のふじみっこ応援団は随時団員募集中。今後防災訓練を兼ねた校内宿泊イベントなど計画中です！



学校支援本部による校内の飾りつけ